

① まちなかエリアの賑わいづくりのゴールのイメージ

➤ 地区住民や事業主の方々が楽しんでいる・元気な姿



② ターゲット、目的は？（誰に対するアクション？）

- 四倉地区に住んでいる方・働いている方・これから関わる方
- 地域の人がおもしろくて、集まっている
- 取組んでいる人も楽しんでいる

満足感・幸福感 を得る・得られること

ポイント：地域の資源・特性を活かす



③ やりたいこと・することは何？ アイデアを出し合いましょう！
（住んでいる人・働いている人・これから関わる人などの満足感・幸福感がUPしそうなソフト・ハード）

| 平日/休日 | 子供 | 学生 | 若い世代 | 大人・高齢者 |
|-------|----|----|------|--------|
| 朝 | | | | |
| 昼 | | | | |
| 夕 | | | | |
| 夜 | | | | |

④ 実施場所、使えそうなところは？
効果的な場所は？



⑤ 誰がやる？どんな座組？

注：取組みの実施を実現するために、必要となるソフト的な取組み（実証実験や意向調査など）もセットで考える

【これまでの会議であげられた意見】

地域の土台を強化

- 若い世代の意見を聞く
- 繁盛店は気概がある（みんなのお手本）
- 協力体制（既存店や若い方）の構築
- 後継者の育成（賑わいづくりの継続性）
- 不動産オーナーの協力
- 段階的な取り組みの実施
- 地域資源（海・ヤシ）の魅力向上（住みたい海沿いの街）

魅力・場を創出

- フリーマーケット
- 朝市・夕市
- 子供たちの遊び場づくり
- 地区のたまり場づくり
- 気軽に立ち寄れる居場所づくり
- 歩いて立ち寄れる昔ながらの商店街（店構え）
- 地域に残る伝説・歴史の活用
- 空き店舗・空き家・空き地の活用
- 商店街の歩行者天国と道の駅よつくら港との連携
- 子供たちの作品を商店街に展示
- ブックカフェ
- ガラス工房
- 空き家の1階をチャレンジショップ、2階を住宅とした起業家の受け皿

来訪機会を創出

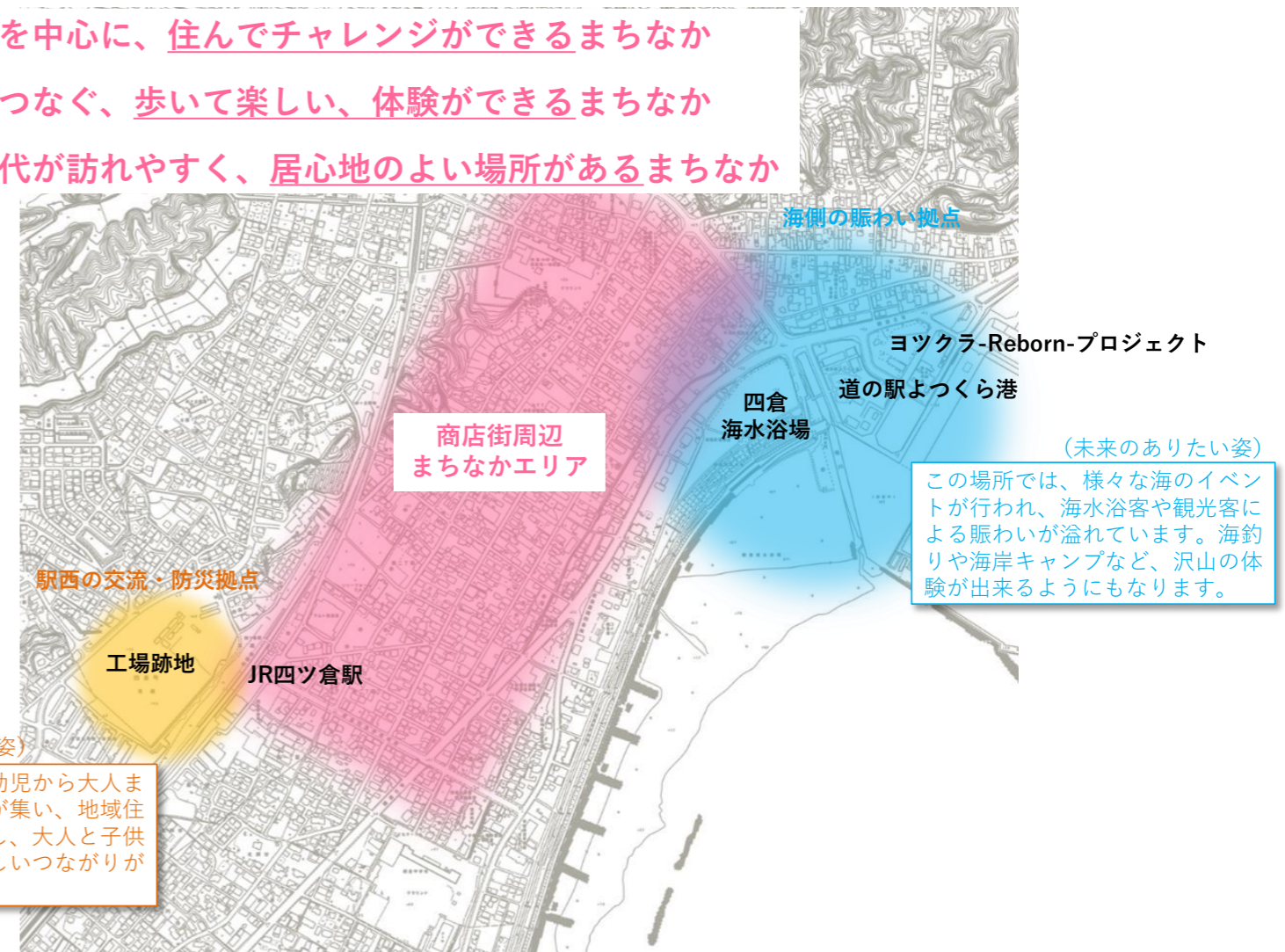
- 足の確保（高齢者も訪れられるように）
- 海方面への流れをつくる（キックボードなど）

歩きやすい空間を創出

- 供用の駐車場を複数設置（店先の路駐をなくす、土地の有効活用）
- 歩車共存の道路（コミュニティ道路化）

【意見から見えてくる、まちなかのありたい姿】

- 若い世代を中心に、住んでチャレンジができるまちなか
- 駅と海をつなぐ、歩いて楽しい、体験ができるまちなか
- 多くの世代が訪れやすく、居心地のよい場所があるまちなか



(未来のありたい姿)
この場所では、様々な海のイベントが行われ、海水浴客や観光客による賑わいが溢れています。海釣りや海岸キャンプなど、沢山の体験が出来るようになります。

(未来のありたい姿)
この場所では、幼児から大人まで、多様な人々が集い、地域住民が楽しく活動し、大人と子供がふれあい、新しいつながりが生まれています。